

2013年7月4日(木)～7日(日)
礼文島花ウォーキングと利尻山登山
～7月7日(日)利尻島湿原めぐり～ レポートby 小野寺

利尻山登頂の目標達成の安堵と疲れで、昨夜は9時過ぎには早々に布団に入ったので、朝4:30には誰ともなく目が覚め、そもそも起き出した。身繕いと荷造りを終えて、7:00の朝食まで1時間ほどある。周辺を散策することにした。



昨日、国立公園事務所のおじさんが予言したとおり、快晴の今朝は利尻山が頂上までくっきり(^o^)/

民宿近くの運動公園にて利尻山雄姿。



←マンホール蓋も利尻山



海の幸満載の朝食を頂いた後は、出航までの午前中をレンタカーで利尻島観光に向かうこととした。

お世話になった民宿「旅の宿しらかば」の、働き者の看板娘さんと一緒にパチリ。

漁師さんご一家が経営の宿なので、お食事はサイコー。お部屋もきれいで温泉付と、とても良いお宿だった。(￥8,900/泊)

8:10

2台の軽レンタカー、ダイハツ・タントに分乗して、いざ出発！



上記、赤丸○、姫沼から時計回りに鶴泊港までが、本日の周遊コース。



今日は日曜日。「旅の宿しらかば」の看板娘の「9:00に観光がスタートするので、その前に姫沼に行っておいた方がよい」というアドバイスに従い、まずは姫沼へ。

8:20



周囲約1キロ。木道が整備されている。

お天気はよいし、まだ人も少なく、最高のお散歩コース。



よいお天気で、逆さ富士も見られた。

トレードマークのような利尻山上の笠雲も、きっちり沼面に写っている。



沼の周りは大木がうっそうと立ち、チシマアザミ、オオウバユリ(開花前)などの植物が繁っている。

オオコノハズク(恐らく)の「ほお ほお」の声を含め、付近は鳥がさえずり、湖面にはカモの親子が何組か愛らしく泳いでいた。



一周した私たちが駐車場に戻ると、大型観光バス6台が到着したところだった。

ひやあ、くわばらくわばら。

そそくさと車に乗り込み、南へ向かうことにする。
8:47

途中、にわかに曇り、利尻山を覆い隠すとともに、あつい雲がみるみる麓まで下りてきた。

山を中心抱いた島の天気は、変わりやすく、地域によって異なる。

↓南浜湿原に到着。9:15

南浜湿原(6ha)は、利尻島最大の湿原だそうだが、バスが停まれるスペースもなく、観光客は少なそうだ。



時期的にお花の閑散期だったようで、育ちきったミズバショウとゼンマイ？ ↑



弱ったカキツバタにワタスゲなど、お花畠はさやかな状態だったが、静かに散策ができ、良いところだ。



沓形(くつがた)の手前に、ウミネコの繁殖地があった。

ちょうど雛を育てる時期にあたり、親鳥は大忙し。

ところで、利尻島でよくみられるセグロカモメとウミネコの見分け方

- ① ウミネコの方が二回りくらい大きい(ハシブト鳥より少し大きい)
- ② 嘴と足が黄色(カモメは足がピンク)
- ③ 鳴き声はカモメより太く「ミヤーミヤー」と鳴く



9:37

沓形分岐手前のサイクリングロードからの利尻山。

天が味方してくれているかのように、一軒雲が晴れ、また山が全貌を表してくれた。



本日のドライバーは、吉松さんと雄さん。
ありがとうございました m(_ _)m



10:36
フェリー乗り場着。レンタカーを返却し、乗船前に昼食をとることにした。

11:10
「さとう食堂」
ラーメンシリーズ 海鮮・わかめ・帆立・とろろなど、各々注文。出汁がきいて美味。

←写真はお魚定食のホッケ。ホッケは今が旬だそうで、脂がのってじゅわじゅわ。



11:45 乗船。島に別れを告げ、稚内へ。利尻→稚内 料金¥2,180、所要 1 時間 40 分



稚内牛乳 ￥150



14:30 空港バス￥590 所要 30 分



10 分遅れ 15:45 離陸



最後まで雄姿を見させてくれた利尻山。
どこから見ても美しい山だった。



定刻約 10 分遅れ 17:46 羽田到着。



なんと！
同日入笠山単独行をしていたクマさんが、
羽田空港で出迎えてくれた♪
((*°▽°*))じえじえじえ～な驚き！

4日間、お天氣にも恵まれ、サイコーのツア
ーでした。
今回企画の能勢さん、本当にありがとうございました。